

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」白山台中学校区実践計画書

事務局 白山台中学校（担当：教頭・氏名 柳 谷 貴 広）

1 主題（6年次）

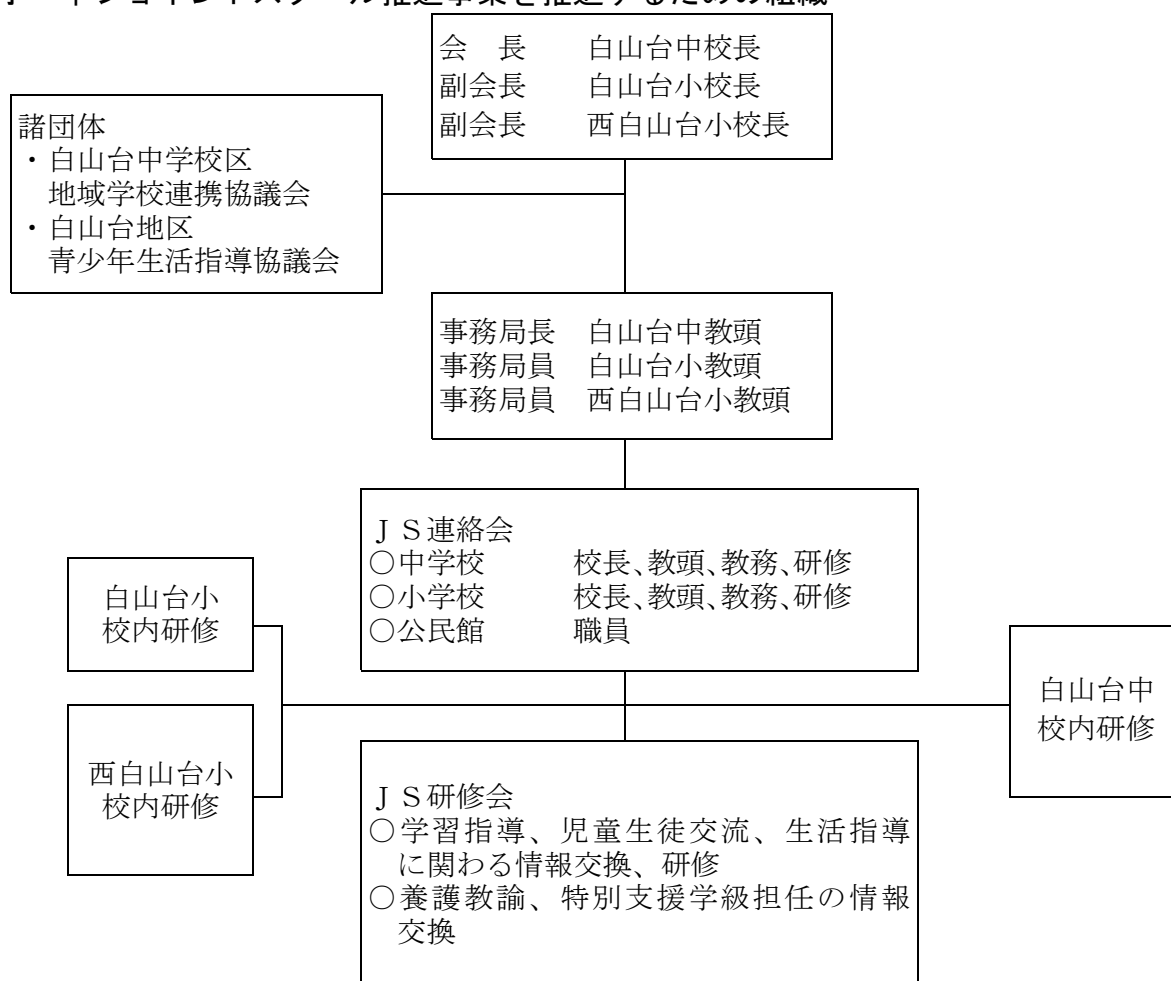
『良好な人間関係を構築する力と主体的に学ぶ力を育てる学校・家庭・地域の連携』

2 主題設定の理由

白山台ニュータウンに所在する白山台小学校、西白山台小学校、白山台中学校は市内で最も新しい学区である。明るく落ち着いた雰囲気、住環境と緑豊かな自然環境により、この20年余りで子育て世代を中心に世帯数が大幅に増加した。しかし、近年では県営・市営住宅の他に、特に学区の西部にアパートなどの集合住宅が増えたことにより、核家族世帯や独身者世帯が著しく増加している。また、地域の中心部に商業施設が複数出店したことにより、近隣の地域からも多くの買い物客が訪れるなど、環境が変化してきている。このような変化に伴い学校や地域における児童生徒の様子や行動にも変化が見られてきている。小・中学校9年間の各発達段階において身に付けるべき基本的な生活習慣や規範意識、学習に対する意欲や家庭学習の習慣、良好な人間関係づくり、郷土を愛し誇りに思う心などが、3校共通の課題となっている。

以上のことから、生きる力の基礎である「良好な人間関係を構築する力」と発達の段階に応じた「主体的に学ぶ力」を育むことをジョイントスクール事業の主題に掲げ、小・中学校と家庭・地域社会が課題を共有し、児童生徒一人一人の能力や個性を引き出すとともに、健やかな成長と変化の激しい社会を生き抜く力の育成を図っていききたい。

3 小・中ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 重点指導項目等

- (1) 良好な人間関係を構築する力の育成
- (2) 主体的に学ぶ力の育成

■主な取り組み（学校間連携によるもの）

① J S 研修会	6月1日（木）	中学校の授業を各小学校の教師が参観し、生徒の様子（特に新1年生）についての成長や変容について意見交換を行う。
② J S 分科会	6月1日（木） 部会ごとに 分科会を開く	校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、養護教諭、視聴覚主任がそれぞれ部会をもち、下記の5つの取組について詳細を協議し、実践する。 ※1回目以降は適宜部会ごとに打合せをもつ
③授業参観	各校の授業参観日	・会場：各校 ・参観可能な職員が学校を訪問し授業を参観する
④ J S 新入生 ガイダンス	1月26日（金）	・会場：白山台中学校 ・内容：中1生徒による小6児童への中学校生活のガイダンスを行う
⑤ J S 推進会議	2月22日（木）	・会場：白山台中学校 会議室 ・人員：校長、教頭、教務主任、研修主任 ・内容：年間の総括と次年度の方向付け
⑥新入生説明会	3月22日（金）	・会場：白山台中学校 ・内容：小6児童に入学前指導を行う

■主な取り組み（家庭や地域社会との連携によるもの）

1 学習についての連携

- 諸調査をもとに学力や学習状況を共有し、共通の課題や取組事項等を考察する

2 メディアコントロールウィークの設定

- 3校共通で中学校の定期考査に合わせてメディアコントロールウィークを設定し、児童生徒が家庭での手伝いや読書・家庭学習などに意識的に取り組む機会とする
- 取組状況について児童生徒、及び保護者のアンケートを実施し分析する

3 一人一台端末の活用

- 家庭での利用を含めた取組を共有し、活用の充実を図る（各校・各家庭との連携を図る）

4 防災教育・安全指導

- 地域の消防署や駐在所、防犯協会、防災会と連携した防災・防犯教育を推進する
- 地域内の危険箇所を点検し共有する
- 小・中合同で引き渡しや集団下校等の訓練を行う

5 生徒指導についての連携

- 不登校・不適応についての対応等に係る情報を共有する
- 校則や約束事についての共有と見直しを図る